

2008年度前期 機械工学実験 実施計画表

No.	実験題目	担当教員(内線)	実験室	教員室	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
-01	水流洞による飛行体周りの渦の可視化	大津(1053)	131-3	3 2 7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
-02	モアレ法による計測	加藤(1606)	3 0 9	3 6 6	1 2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
-03	気体の流動特性	真田(1605)	154-2	総410	1 1	1 2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
-04	画像解析	山下(1067)	3 1 7	2 0 5	1 0	1 1	1 2	1	2	3	4	5	6	7	8	9
-05	熱伝導の数値実験	柿本(1047)	2 5 2	2 5 3	9	1 0	1 1	1 2	1	2	3	4	5	6	7	8
-06	1自由度系の強制振動	益子(1608)	総408	共202	8	9	1 0	1 1	1 2	1	2	3	4	5	6	7
-07	引張り試験	島村(1045)	1 2 0	2 2 7	7	8	9	1 0	1 1	1 2	1	2	3	4	5	6
-08	炭素鋼の標準組織と熱処理	荒木(1029)	2 2 1	2 2 6	6	7	8	9	1 0	1 1	1 2	1	2	3	4	5
-09	ナノ・マイクロ硬さ試験による局所域の強度評価	吉田(1038)	1 5 8	3 5 3	5	6	7	8	9	1 0	1 1	1 2	1	2	3	4
-10	圧縮試験およびリング圧縮試験	今泉(1043)	1 1 7	1 1 7	4	5	6	7	8	9	1 0	1 1	1 2	1	2	3
-11	光弾性実験	安田(1030)	1 5 3	3 6 2	3	4	5	6	7	8	9	1 0	1 1	1 2	1	2
-12	レーザ加工実験	酒井(1037)	1 2 5	3 2 3	2	3	4	5	6	7	8	9	1 0	1 1	1 2	1
* 総は総合棟, 共は共通棟 円グラフを持参 ** 担当教官の()内の数字は内線番号 学外から053-478-(内線番号)で連絡可		実験日	機械宇宙(水)	4/16	4/23	4/30	5/7	5/14	5/21	5/28	6/4	6/11	6/18	6/25	7/2	
		機械知能(木)	4/17	4/24	5/1	5/8	5/15	5/22	5/29	6/5	6/12	6/19	6/26	7/3		
		予備日	機械宇宙：7/9 機械知能：7/10													

注意事項

1. 全テーマに出席し、決められた日時までにレポートを提出し試問を受けること。レポートボックスは機械棟2階の216号室(印刷室)に設置してある。
2. 実験指導書はあらかじめよく読み、実験の目的・理論および方法を要約し、表紙をつけて実験当日の朝8時40分までにレポート受けに提出すること(表紙及びレポート用紙はA4サイズとする)。
3. 点検を受け返却された上記要約に実験の結果・検討および考察を加えてレポートを完成し、次回実験日前日の朝8時40分までにレポート受けに提出すること。
4. 試問はレポート提出日の午後4時より行う。不完全なレポートは書き直して指定の日時までに直接担当教員に提出すること。
5. 病気等やむを得ず欠席する場合は、予め実験担当者に連絡し承認を得て(担当者に連絡のつかない場合は指導教員や3年担当でもよい)、指定日時に補講を受けること。
6. 正当な理由なしに実験、試問を無断欠席・遅刻した場合あるいは期限までにレポート(再提出を含む)を提出しない場合は厳格に不合格となり、来年度に全題目について再受講しなければならない。また、他人のレポートをコピーしたことが発覚した場合には、レポートを写した側と写された側の双方が不合格となるため、注意すること。
7. 実験は実験計画表の通りに実施し、途中で休講があっても変更しない。休講になった題目は予備日に行う。

